国家的制度に守られた若古学教成者集団
＝日本考古学協会解体！
朴訪隊による暴力的弾圧粉砕！

79名全員逮捕！

我々全関西考古学斗争委員会、関東考古学学生協議会及び岡山の考古学徒など約百数名は、現在の犯罪的憲訴破壊行政の主体である日本考古学協会を断固告発するため、去る5月京都平安博物館三条高倉にて開かれた日本考古学協会総会に公然団立と参加し会場へ入るにあ、協会側はすべてのあらゆる手段を尽して我々を排除しようとしたが、我々はこういった権力に追従した、否、正に権力集団以外の何物でもない考古学協会に増々あくなき攻撃を加えていくであろう。

日本考古学協会とは考古学研究者の集りであり、協会員は推薦制で全員一致の原則として協会員のみなら参加を行う事ができる。このような制度は一部のボスの努力を増すのみで関東関西の派閥的な秘行し、関東の若手の大学に至っては右翼制＝近代ギルド制度をしき学生を支配下におりている。

一方、国土総合開発とうたう差名のもと、博々厂史的資料＝国民の共有成果であろう遺跡が破壊されていく。そういった中で考古学者は研究を自己目的化し販賣的開発側＝企業側より調査費をもらう＝受益者負担制度を確立させて、その中で自ら主体的に遺跡破壊調査を担ってきた。

また、こういったものに反対の示すをとる若手連歩派といわれる人々も大衆も、開発の主体あるいは権力の本質を隠ぺいした形で組織する(○○遺跡を守る会等)販賣的行為を行ってきた。しかしこれらの組織では権力・資本の前には何ら力にならずますます増々その破壊性を明らかにしつつある。

こうした組織たち日本考古学協会の内部からの変革をめざす人々の遺跡を自ら主体的に破壊し、もろろん開発側の遺跡破壊に対しても反対しもないのみならず例は、建国記念日、靖国神社法案、神社参宮復活に不安を感じる厂史教育の帝国主義的イデオロギー再編に何ら抗じもないのである。

このような腐敗しきった日本考古学協会の内のなんな動きのように周辺れたな、彼等は我々をおそれ(会員と隔絶者二名)をし我々をしめだし、会場は異様な雰囲気にのみツク、十分～二十分程度のスライドを交えた発表で総会を行う程度であり、その研究発表しいわれるものは、もちろん破壊に加担していく行政調査なのである。

我々な逮捕された後、若干の異論を出した人もあったようだが、全体としては何らとりあげず、我々な提起した問題に何ら解答することもなく、会は行動隊の常駐のもと三日間の日程を終えた。

我々はこのように我々の前にその正体を暗す情で展開しつつある、国家権力に追随するコルショア考古学者集団＝日本考古学協会を解体するためにあらゆる幻想をすて、断固戦いを続けていかねばならない。そうして考古学をきそに人民のもに帰し、人民の厂史学を創造するために、若手研究者を巻き込んだ形で、自律研究者集団を勝ちとってゆかねばならない。

考古学協会

そう！
斗技闘ソル

'69.11.1